

人文学及び社会科学に関するこれまでの主な学術分科会報告に関する取組状況について

【学 1】 人文学及び社会科学の振興について（報告）（平成 21 年 1 月 科学技術・学術審議会学術分科会）

【学 2】 リスク社会の克服と知的社会の成熟に向けた人文学及び社会科学の振興について（報告）（平成 24 年 7 月科学技術・学術審議会学術分科会）

【学 3】 学術研究の総合的な推進方策について（最終報告）（平成 27 年 1 月 科学技術・学術審議会学術分科会）

	これまでの主な論点	取組状況 ◆：予算関係、◇その他	実績・成果	課題・今後の予定等
異分野融合研究、国際共同研究の推進	【学 1】 国際共同研究の推進（国際共同研究による日本研究）	◆ 国際共同に基づく日本研究推進事業（H22～H24）	国際共同研究に基づく日本研究推進事業（H22～H24）において、海外に存在する「日本」に関係する様々な資源を活用した「日本研究」の国際共同研究を支援。（H22 に 3 件採択。）	平成 25 年度からは課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業のグローバル展開プログラムにて引き続き支援。
	【学 1】 異質な分野との「対話」としての共同研究の推進	◆ 異分野融合による方法的革新を目指した人文学・社会科学研究推進事業（H21～25）にて実施。	異分野融合による方法的革新を目指した人文学・社会科学研究推進事業（H21～25）において、他分野の研究手法等の導入等を視野に入れ、異なる分野の研究者による共同研究を支援。（H21 に 13 件採択。）	課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業の領域開拓プログラムにて引き続き支援。
	【学 2】 課題設定による先導的人文学・社会科学研究の推進	◆ 課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業に領域開拓プログラムを設け実施（H25～）	課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業（H25～）領域開拓プログラムにおいて、諸学の密接な連携による、ブレイクスルーを目指した共同研究を支援。（H26 に 12 件、H29 に 12 件採択。）	課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業の領域開拓プログラムにて引き続き支援。
	【学 3】 諸学の密接な連携や国際的な学術展開、社会的・国際的な要請への貢献を实践する共同研究の先導的なモデル形成	◆ 課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業に領域開拓プログラム、グローバル展開プログラムを設け実施（H25～）	課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業（H25～）において、先導的な共同研究を支援。（領域開拓プログラムは H26 に 12 件、H29 に 12 件、グローバル展開プログラムは H25 に 5 件、H28 に 7 件採択。）	課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業の領域開拓プログラム及びグローバル展開プログラムにて引き続き支援。
	【学 3】 新たな研究領域の創出	◆ 課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業に領域開拓プログラムを設け実施（H25～）	課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業（H25～）領域開拓プログラムにおいて、諸学の密接な連携による、ブレイクスルーを目指した共同研究を支援。（H26 に 12 件、H29 に 12 件採択。）	課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業の領域開拓プログラムにて引き続き支援。
政策や社会の要請に応える研究の推進	【学 1】 「政策や社会の要請に応える研究」の推進	◆ 近未来の課題解決を目指した実証的社会科学研究推進事業（H20～H24）	近未来の課題解決を目指した実証的社会科学研究推進事業（H20～H24）において、実証的な研究方法による課題解決を志向した研究を支援。（H20 に 4 件採択。）	平成 25 年度からは課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業にて引き続き支援。
	【学 1】 「国等が定める研究目標等の中で、優れた研究を競争的に審査、採択、実施するタイプの研究プログラム」の推進			
	【学 2】 課題設定による先導的人文学・社会科学研究の推進	◆ 課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業に実社会対応プログラムを設け実施（H25～）	課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業（H25～）実社会対応プログラムにおいて、研究成果と実務を橋渡しできる者（実務者）の参画を得て分野間連携による共同研究を支援。（H25 に 13 件、H27 に 11 件採択。）	平成 25 年度からは課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業にて引き続き支援。
	【学 3】 諸学の密接な連携や国際的な学術展開、社会的・国際的な要請への貢献を实践する共同研究の先導的なモデル形成	◆ 課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業に実社会対応プログラムを設け実施（H25～）	課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業（H25～）実社会対応プログラムにおいて、研究成果と実務を橋渡しできる者（実務者）の参画を得て分野間連携による共同研究を支援。（H25 に 13 件、H27 に 11 件採択。）	平成 25 年度からは課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業にて引き続き支援。
人材育成	【学 1】 「学者」としての「専門家」の養成のために幅広い視野を醸成するための基礎訓練期間の確保	◆ 特別研究員事業	人文学・社会科学の領域における H30 の採用人数は 491 人（採用人数は DC1、DC2、PD、SPD、RPD の合計）	特別研究員事業を引き続き推進
	【学 2】 グローバルに活躍する若手人材の育成	◆ 海外特別研究員事業	人文学・社会科学の領域における H29 の採用人数は 15 人、H30 の採用人数は 14 人。	海外特別研究員事業を引き続き推進。

	これまでの主な論点	取組状況 ◆：予算関係、◇その他	実績・成果	課題・今後の予定等
研究体制、研究基盤の整備・充実	【学1】国公立大学等を通じた共同研究体制の推進 【学2】研究拠点の充実・強化・連携	◇ 平成20年7月の学校教育法の改正により、国公立大学の研究所等を文部科学大臣が「共同利用・共同研究拠点」として認定する制度を創設 ◆ 人文学及び社会科学分野における共同研究拠点の整備の推進事業（H20～H24）→ 特色ある共同研究拠点の整備の推進事業に改善 ◆ 国立大学は運営費交付金により共同利用・共同研究拠点に対して支援 ◇ 学校教育法施行規則の改正により、国公立大学の研究所等を文部科学大臣が「国際共同利用・共同研究拠点」として認定する制度を創設	H30 現在共同利用・共同研究拠点は107拠点、うち、人文学・社会科学分野の拠点は22拠点。 国立大学の拠点（77拠点、うち、人文学・社会科学分野は10拠点）については運営費交付金により、公私立大学の拠点（30拠点、うち人文学・社会科学分野は12拠点）については「特色ある共同研究拠点の整備の推進事業」により支援	
	【学2】大型プロジェクトの推進	◇ 人文学・社会科学分野も含まれた学術研究の大型プロジェクトの推進に関する基本構想ロードマップを策定 ◆ ロードマップから日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画を実施（H26～H35）	日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画（H26～H35）において、国内外の大学・研究機関と連携して、日本語の歴史的典籍約30万点を画像化したデータベースを整備し、日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワークを構築を推進中。	プロジェクト推進の基礎となる年次計画について、財政環境の反映、並びに「学術研究の大型プロジェクトの推進方策の改善の方向性」（平成29年3月学術研究の大型プロジェクトに関する作業部会決定）の考え方の反映を行い、進捗管理の徹底を図っているところ。
成果の発信	【学1】海外に向けた成果の発信、使用言語の多様性	◆ 課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業のグローバル展開プログラムを実施。	課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業（H25～）において、先導的な共同研究を支援。（グローバル展開プログラムはH25に5件、H28に7件採択。）	平成25年度からは課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業のグローバル展開プログラムにて引き続き支援。
	【学2】デジタル手法等を活用した成果発信の強化	◇ 科学研究費助成事業について、研究成果公開促進費（学術定期刊行物）を「研究成果公開促進費（国際情報発信力強化）」に改め、助成対象を学協会が定期的に刊行する学術誌から、国際情報発信力を強化する取組に見直したほか、オープンアクセス誌の刊行支援の取組を実施。（H25～） ◇ 国立情報学研究所が開発・提供する JAIRO Cloud による機関リポジトリのクラウド運用支援を実施。（H24年度～）	研究成果公開促進費（国際情報発信力強化）の H30 の助成件数は65件。 機関リポジトリ数は2018年5月末現在で813件、そのうち、JAIRO Cloud 利用数は565件（予定も含む）。	JAIRO Cloud による教育研究成果の発信の支援を引き続き実施。
	【学3】国際発信や国際的な学術コミュニティへの参画	◆ 課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業のグローバル展開プログラムを実施。	課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業（H25～）において、先導的な共同研究を支援。（グローバル展開プログラムはH25に5件、H28に7件採択。）	平成25年度からは課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業のグローバル展開プログラムにて引き続き支援。
研究評価の確立	【学1】人文学及び社会科学における研究評価	科研費（特別研究促進費）「研究力を測る指標（分野別・大学機能別）の抽出と大学の研究力の可視化に関する基礎的研究」	大学の研究力を図る指標等についての分析・考察。	報告等の機会で広く周知を行う予定。
	【学2】研究評価の充実			
	【学3】人文学・社会科学の固有の意義を尊重した独自の評価基準の可視化			
その他	【学1】実証的な研究方法を用いる研究に対する支援	◆ 異分野融合による方法的革新を目指した人文学・社会科学研究推進事業（H21～25）	異分野融合による方法的革新を目指した人文学・社会科学研究推進事業（H21～25）において、他分野の研究方法等の導入等を視野に入れ、異なる分野の研究者による共同研究を支援。（H21に13件採択。）	課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業の領域開拓プログラムにて引き続き支援。
	【学2】事業・制度の枠組みを超えた展開			

	これまでの主な論点	取組状況 ◆：予算関係、◇その他	実績・成果	課題・今後の予定等
	【学3】科研費などの公募方法や審査方法の改善を通じた挑戦的な研究支援	◇ 科研費の審査システムの見直し（H29~） ◇ 科研費の研究種目・枠組みの見直し（H29~）	細分化が進んでいた審査区分を大括り化（従来の「系・分野・分科・細目表」を廃止） 多角的な合議を重視する「総合審査」を導入。 学術の変革・転換を志向する研究を支援する「挑戦的研究」を創設。	新たな審査システムについて、検証等を通じて不断の改善を図る。